

第109回運営委員会概要 12月14日(水) 17:30~19:20

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
  - ◆出席運営委員：新野・佐藤・石坂・川口・三宮・武本(和)・前田・・・7名
  - ◆出席委員：桑原・佐藤(直)・・・2名
  - ◆オブザーバー：保安院／飯野所長・岡野副所長・熊谷検査官 エネ庁／磯部所長  
東電／長野副所長・西田技術担当・佐野課長・山本主任
  - ◆事務局：広報センター／井口業務執行理事 石黒主事
- 

次回以降定例会の内容について(1月・2月情報共有会議・3月)

- ◆1月の内容について
  - 〈議長〉政府の事故調査・検証委員会の中間報告などこれからいろいろな発表がされる。それを受けて1月はどのような内容にしたらよいか。
  - 〈委員〉東京電力のストレステストについての報告は1月の定例会に間に合うか。
  - 〈東京電力〉保安院の耐震バックチェックの審査をいただいておりますその状況次第。それを踏まえて提出がされていれば説明させていただく。当初は11月末を目標にしていた。
  - 〈委員〉12月26日に事故調査・検証委員会の中間報告が出されると聞いている。それについて説明してもらいたいが、説明できる人がいるだろうか。
  - 〈委員〉もし説明者がいなければ、中間報告を受けて、新潟県や市はどう考えるか話してもらえばよいのではないか。
  - 〈委員〉あくまでも中間報告。それを受けてどうしてほしいか、どうなってほしいかを議論するしかない。
  - 〈議長〉概要だけでも説明していただけるよう関係機関に依頼してみたいが、もし難しいとなれば、情報を新聞やテレビ、マスコミなどから得て、どう思うかということをお話しあってみよう。(委員賛成)
- ◆2月情報共有会議について
  - 〈議長〉2月の情報共有会議は、オブザーバーに対して、現在の原子力発電所の状況を踏まえてお話いただきたいということによいか。また4月から新たな規制組織がスタートするにあたり、どのように考えているかということをお話していただきたいと思うがどうか。
  - 〈委員〉事故直後の情報の出し方についても触れてもらいたい。それを踏まえて計画されている防災の見直しのことにも触れてもらいながら、福島のことをどう考えるかというのを盛り込んでほしい。
  - 〈委員〉去年は、委員の意見を全員が話した後、それに対する回答の意味も含めてオブザーバーから話をいただいた。今年はそのスタイルは厳しいのではないか。
  - 〈議長〉では順番を逆にしてみようか。
  - 〈委員〉福島事故を踏まえて原発をどう思うか、というのを大きなテーマにし、その中に情報伝達のことや今後の防災について触れてくださいとしてはどうか。
  - 〈議長〉では、情報伝達や今後の防災のあり方について、お一人7分程度でお願いすることにしたい。(委員賛成)

- ◆ 3月の内容について
- ・ 次回運営委員会で検討。

#### 委員意見・質問について

- 〈議長〉 前回定例会後に提出された委員質問についてどう対応するか。
- 〈保安院・東京電力〉 次回文書で回答したい。
- 〈委員〉 SPEEDI によるシミュレーションの提示に関する質問について。柏崎刈羽のデータは近距離圏のものだったと認識しているがどうか。
- 〈保安院〉 新潟県から文科省の原子力安全技術センターへ委託して平成22年度のシミュレーションを行なっている。それは近距離の範囲のデータ。
- 〈委員〉 質問者の主旨は、福島を柏崎刈羽に当てはめた場合の広い範囲を想像して季節風のパターンや気象の変化などデータがあるなら予備知識として知りたいということだと思う。実際に今あるのは近距離のデータしかない。それでは不十分ではないか、という意見につながった場合、その内容について誰が説明してくれるのか。
- 〈保安院〉 昨年度、新潟県は24パターンをシミュレーションしているが、すべて北西よりの風で風速を変えた内容。質問の主旨は季節の変化や季節風の変化などのシミュレーションを求めていると思うが、データはすべて一方向からのもの。今年度、シミュレーションを行なう予定はないと聞いている。
- 〈委員〉 シミュレーションをやっているなら、とりあえずそのデータだけでも出してもらえばよいと思う。
- 〈議長〉 それは県から出してもらえばいいのか。
- 〈保安院〉 そのデータは県が依頼したもの。
- 〈委員〉 防災訓練のときに SPEEDI のデータが出てくるが、それはあるのか。
- 〈保安院〉 防災モデルとして HP にある。文部科学省の N ネットという原子力防災のページに SPEEDI の結果がでていて、新潟県の結果もある。
- 〈委員〉 データは新潟県から出してもらい、文部科学省の原子力防災のページのこともお知らせしてもらってはどうか。
- 〈委員〉 風向きというのは1日に何回も変わるし、高度によっても変わる。そのデータだけを信じてしまうのも心配。
- 〈保安院〉 実際の計画は SPEEDI の結果だけを基にしているわけではない。季節風や高度によっても風の変化があり、地形の違いによっても左右される。
- 〈保安院〉 拡散予測をするのが SPEEDI。発電所からデータをもって発電所のプラント状況、放射能がどう出るか原子力基盤機構で行っている。
- 〈委員〉 質問者が知りたいのは発電所周辺の365日の値。風土的な特徴があるなら知りたいということではないか。
- 〈議長〉 知りたいという気持ちはとても理解できる。ただ、どのような情報を知るべきか、SPEEDI の結果のみで個人で判断してしまうという点が非常に懸念される。文書での回答よりは、こういう勉強を一度したほうがいいのではないかと。難しい点が多々あることや一定のパターンではないことを知るべき。SPEEDI はとてもいいシステムであるが、それだけに頼るべきではないし、かといって同心円状で単純に区分してしまうこともいけないが、今はそれで区分するしかない苦しい位置づけなんだということを住民が理解することが重要。

今回は県にお願いして回答してもらいたいが、関心の高い内容だと思うので、いずれ勉強会で取り上げて勉強していきたいということもお話したい。

(委員賛成)

#### 視点52号内容について(第101回定例会分)

- ・原稿を委員で確認
- ・フリーディスカッション部分を項目ごとに小見出しをつける
- ・各委員で校正して次回運営委員会時に検討する

#### 【決定事項】

〈1月11日定例会・タイムスケジュール(案)〉

- 18:30～19:15 前回からの動き(東京電力、保安院、エネ庁、行政)
- 19:15～
- ・事故調査・検証委員会の中間報告について(説明、またはディスカッション)
  - ・ストレステストについて(予定:東京電力)
  - ・防災についての状況(県市村)
  - ・その他

#### 今後の日程について

第103回定例会	1月11日(水)	18:30～	柏崎原子力広報センター2F
第110回運営委員会	1月12日(木)	18:30～	同上
第104回定例会 (情報共有会議)	2月1日(水)	18:00～	柏崎市産業文化会館3F